



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 平成29年11月1日
発行者 校長 末永 寿宣

No. 320 11月号

尾久西小学校の英語教育

～教師も児童も共に学び合う英語の授業を目指して～

校長 末永 寿宣

荒川区では、平成15年度に国の構造改革特別区域の認定を受けて以来、小学校の教育課程に「英語科」を位置付け、英語教育を進めてきました。本校では、「荒川区小学校英語科指導指針」（平成29年3月改訂 荒川区教育委員会）の趣旨に則り、子供の実態に応じた英語教育プログラムを提供しております。

「ワールドタイム」でコミュニケーション活動

「英語を使ってコミュニケーションを楽しむ」ことを目標に、日頃から学習している英語を使って、外国の方と直接対面して、自分から進んで積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てています。コミュニケーション能力は、英語学習だけでなく、社会生活のあらゆる場面において必要とされる能力です。

1年生から6年生までの全児童が、学年ごとに英会話に挑戦しています。ワールドタイムの日は、子供たちが、イングリッシュティーチャー8名と休み時間も校庭で一緒に遊び、給食も各クラスで一緒に食べ、楽しく交流しています。

スカイプによる海外交流スタート

「外国の言葉や文化について興味・関心を深める」ことを目標に、今年度から海外交流がスタートしました。テレビ会議システム（スカイプ）を活用し、オーストラリア・セントステファン校の日本語専攻クラスの児童25名と交流しています。

日本の言葉や文化はもちろん、外国の言葉や文化にも幅広く興味や関心を持ち、互いに尊重する態度を育成します。グローバル化が進む中、言葉や文化が異なる人たちと協調し、交流していくことがこれからの人材には求められています。

中学校への円滑な接続を目指して

「身近な英語が分かり、基礎的な英語表現を使って自分の思いや考えを伝える」という目標の実現のため、「書くこと」にも重点をおいて指導しています。中学校での英語学習で戸惑わないように、小学生の段階から準備を進めています。英語ノートを使って、アルファベットの大文字、小文字を正しく書き、発音すること、dog等の3文字程度の英単語を書くことができるように指導しています。なお、アルファベットの学習では、国語科における第3・4学年でのローマ字学習とも関連させながら扱う一方、それらの違いについても理解させています。

尾久西小の子供一人一人が、国際社会の中で、たくましく生き抜く力をつけるために、地域や保護者の方々のご理解とご協力をいただきながら、子供の可能性を伸ばしてまいります。

引き続き、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



▲イングリッシュティーチャーと学習した英語を使って会話しています。



▲スカイプを使って、海外の子供と英語での会話に挑戦しています。



▲英語ノートを活用してアルファベットの完全マスターを目指しています。